

令和六年度日本航空高等学校石川

第一回模擬試験問題（国語）

一 次のA～Cの問いに答えなさい。

A 次の1～5の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- 1 仕事が軌道に乗る。 2 白菊が咲いている。
- 3 近くに養鶏場がある。 4 事態を掌握する。
- 5 炊事洗濯をする。

B 次の1～5の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- 1 サンガク部に入部する。 2 ジュウタイに引つかかる。
- 3 テツガクを学ぶ。 4 平氣をヨソオう。
- 5 牧場でジヨウバ体験をする。

C 次の1～5のそれぞれの問いに答えなさい。

- 1 次の□に体の一部を表す漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。
飛行機を見に、空港へ何度も□を運んだ。
- 2 次の□に適切な漢字を入れ、四字熟語を完成させなさい。
晴□雨読
- 3 傍線部の敬語の種類として適当なものを次のア～ウから選び記号で答えなさい。
実家から桃が届いたのでいただきましたでしょう。
ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語
- 4 傍線部の品詞の種類として適当なものを次のア～エから選び記号で答えなさい。
私は食いしん坊な性格である。
ア 名詞 イ 形容動詞 ウ 形容詞 エ 動詞
- 5 作家 太宰治の作品として適当でないものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。
ア 走れメロス イ 人間失格 ウ ヴィヨンの妻 エ 暗夜行路

二 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

「巧」

並んで歩きながら、豪は何度かグラウンドに目をやった。

「おまえ、なんで入学してすぐ、野球部に入らんかったんじゃ？」

入学式から六日たっていた。式が終わってすぐ、入部届が配られた。これに入部希望クラブ名、本人と保護者の氏名を記入し、捺印なっいんして学校に提出すれば、その日からクラブ活動に参加できるのだ。豪は、入学式から帰ってすぐに届を書いた。巧も当然、①そうするものと思っていた。だから、その夜おそくかかってくる電話にはびっくりした。一瞬、息が止まったほどだ。

「入部届、出すの待てよな」

巧は、そう言った。②一瞬止まった息を吐き出してから、豪は、なんでじゃと聞き返した。

「なんでもいいだろ。ともかく明日、出したりするなよ」

「じゃ、いつ出すんじゃ？」

「いつまでに出せばいいんだけ？」

新田東中の生徒は全員、何らかのクラブに所属すること。ただし、一週間の猶予期間を与えらる。その間にクラブを見学して決めること。一度決めたクラブは最低一学期間は続けること云々。『生徒の心得』という小冊子に書いてあったと思う。服装から、勉強のやり方、休日の過ごし方まで細かい字でびっしり書いてあった。ばかばかしいと思いつつ、クラブ活動に関係ある所だけは読んだ。③巧はたぶん開きもせずに捨てたのだろう。

受話器を握り直して、豪は答えた。

「一週間は、出さなくてええんとちがうか」

「じゃ、一週間待て」

「待つてどうするんじゃ」

何のために一週間待つのかわからない。

「一週間待つて、そのあいだ、なにをするんじゃ」

「自主トレ」

それだけで、電話は切れた。

ツイン、ツインと電子音が耳に響く。

「なんなんじゃ、巧、どういふことなんじゃ」

切れた電話から答えが返ってくるわけもなかった。④それでも声に出して訊ねてしまった。中学では、野球部に入ると決めていた。決めていたというもんじゃやない。野球をするために中学に行くぐらいの思いはあったはずだ。少なくとも豪は、巧とバッテリーを組んで野球をすることを目的にしていた。中学校の三年間だけじゃない。それから先もずっとそのつもりだった。まだ十三歳にもなっていない。将来の自分の姿など、影も見えなかった。しかし、巧の球を受けること、受け続けること。キャッチャーとしての自分の姿だけは確かに見える。巧の球には、それだけの魅力があった。初めて見たのは去年の夏。少年野球県大会の会場だった。豪のいた新田スターズは、二回戦で負けた。

「豪、次の試合に出るピッチャー見てみや。一回戦見たかぎりでは、ちよつとはんぱじゃな

いぞ」

帰り支度をしていたとき、監督から声をかけられた。正直、⑤かんべんしてくださいよという気持ちだった。八月である。炎天下で二試合戦って、くたくたに疲れていた。帰りのバスが来るまで木かげでアイスクリームでもなめていたかった。それでも監督の言葉にしたがったのは、野球もこれで最後という思いがあったからだ。中学に入ったら勉強に重点をおくと母に約束していた。適当に楽しめるクラブに入って、勉強も適当にやって、それでいいと思っていた。

しかし、めったに人をほめない監督が、ちよつとはんぱじゃないと真顔で言った。そう言われたピッチャーを見とくのも思いい出になるかなと、納得した。

午後一時からの二回戦第二試合。真夏の熱と光に、めまいがするようなグラウンド。そこで、⑥巧の球に出会った。マウンドにいる少年が同い年だとは信じられなかった。身体だけを較べれば、自分のほうがはるかに大きい。縦縞たてじまのユニフォームを着たピッチャーは、華奢かしゃにさえ見えた。それなのに、あの球はなんなのだろう。バットにかすりもせず、ボールがキャッチャーのミットに収まる。その音が聞こえるような気がした。

—あ、あのボール受けてみたい。
バッターとして打ち返すのではなく、⑦キャッチャーとして受けてみたい。身体の奥から思いが迫上がってくる。五、六球に一度、受けそこねて前にこぼすキャッチャーが、はがゆかった。

自分ならあんなまねはしない。一球、一球に心を集中して、丁寧に球をつかまえる。自分なら、もつと……迫上がってきた感情が、心臓と一緒に激しく鼓動する。生まれて初めての経験だった。

(あさのあつこ著『バッテリーII』より)

問一 傍線部①「そうするもの」とは何をすることか、簡単に説明しなさい。

問二 傍線部②「一瞬つまった息を吐き出して」とあるが、この表現は主人公(豪)のどのような気持ちを表しているか。適当なものを次のア～エから一つ選びなさい。

ア 安心 イ 不信 ウ 喜び エ 落胆

問三 傍線部③「巧はたぶん開きもせずに捨てたのだろう」とあるが、なぜそう考えたのか。説明しなさい。

問四 傍線部④「それでも声に出して訊ねてしまった」という表現から、主人公のどのような様子が分かるか。説明として適当なものを次のア～エから一つ選びなさい。

ア たいしたことのない用件でほつとした様子
イ 巧が野球をしないかもしれないと焦る様子

ウ 先延ばしにする巧を怪しんでいる様子

エ 一方的な巧の言葉に困惑している様子

問五 傍線部⑤「かんべんしてくださいよという気持ち」であったのはなぜか。原因を文中から十字で抜き出しなさい。

問六 傍線部⑥「巧の球に出会った」とあるが、巧のピッチングを見る前はどのような様子であったか、文中の語句を使い説明しなさい。

問七 傍線部⑦「キャッチャーとして受けてみたい」とはどういうことか、文中より十六字で抜き出し、初めの五字を抜き出しなさい。

三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

まず①コミュニケーションにおいて、基本的なことは何かというと、話すことより聞くことが先、ということです。私たちがこの世に生まれ落ちたときのことを考えてみましょう。人間は最初から言葉を話せたわけではありませんね？ 人の話を繰り返し聞いて、それでようやく話すようになる。

社会というものは、自分が生まれ落ちる前にもう出来上がっています。他人は自分に関わらずに生きています。その他人のことを知って、社会の中に自分が加わっていくために、赤ん坊は人の話を聞いています。

自分が社会や世界を作っているわけではないのです。②そこを勘違いしてはいけません。たしかに自分の頭の中では自分のワールドが存在していますが、社会はそれとは別に動いています。ですからそこをきちんと理解して、どういう角度でそこに入っていけばいいのか、ということをお小さい頃から学ぶわけです。

赤ん坊を取り巻く環境にはまず両親があります。ア、その両親を取り巻く環境もありま
す。その中に生み落とされ、赤ん坊はすべてを聞いて育ちます。その際、何をどのように聞くか
によって、話す言葉や話し方が違ってきます。

イ、日本人の両親の子供なら日本語を話す子になるでしょうし、知的な両親の子供なら、
論理的な話し方をする子になるかもしれません。聞くという環境で得られたことが、やがて話
す内容につながっていく、という順序になります。まずそれが、本質的な「話す」と「聞く」の
関係です。

聞くほうが話すより先である、という理由はそれだけではありません。世の中には聞きたが
りの人より、話したがりの方が圧倒的にたくさんいます。ということは、③聞いてくれる
人の方が希少価値、つまり世の中で需要があるといえます。

小学生を教えているいつも面白いと思うのは、授業で小学生向けの本を読むと、子供たちは
家に帰って、必ずお母さんにそのことを話すのだそうです。「今日読んだ本はこういう話で、こ
んな事を書いてあったよ」と話す。お母さんはちゃんと聞いてくれます。もしこれが話を聞か
ないお母さんと、その子はだんだん本を読まなくなりま

す。ですから、お母さんが話を聞いてうなずいてくれて、「ああ、よく読んだね」という風に、応
答することが大切です。そのことによって、子供はやる気を出しどんどん話す。何度となく話
しているうちに、話すことが上手くなっていくわけです。

ウ、話し上手になっていくための④きっかけを作ってくれるのは、お母さんのような存
在です。安心して話せる相手。途中で話をさえぎったり、否定したりしない。時間も自由にしゃ
べらせてくれる。そんな存在が必要なのです。

⑤子供の話し方を注意するお母さんもいるかもしれませんが、私は小学校の低学年くらいま
では、長々と話してもいいと思います。文章が切れずに、「えっとね、えっとね」「それで
ね、あとね」と話す時期があってもいいでしょう。

なぜなら、延々と話すのは気持ちがいいことだからです。話しているときは、脳が働き、体全
体も高揚感があつて、自己表現ができている状態です。ちょうどエネルギーの燃焼感のよう
なものがあつて、ちょっと気分がハイになります。つまり自分自身に酔うことができるのです。
酔わせてくれる相手が聞き上手な人といってもいいでしょう。

ところが大人になって聞く側になってみると、ただ聞いているだけというのは、なかなかつ
らいものがあります。相手が非常に面白い、意味のある話をしてくれる場合は別ですが、小学
生のように繰り返しが多く、何を言いたいのかわからないような場合は、よほど親密な人かプ
ロでなければ、じっと聞いているのは苦痛です。プロというのはカウンセラーのような職業の

人のことをいいます。相手に上手に話させることによって、相手が落ち着き、自分自身で課題を見出していく。自分で自然と問題を克服していくというのが、ノンディレクティブなタイプのカウンセリングの手法です。

ノンディレクティブとは、指示を与えないこと。すなわち「こうしなさい、ああしなさい」と言わないタイプのカウンセリングで、臨床心理学者の⑥カール・ロジャースが生み出した手法です。カウンセラーが「それはそうではないでしょう」とか「あなたの言っていることはおかしいですよ」と返したら、相談者はもう話す気がなくなってしまいます。聞き上手になるには、そうしたお母さんの、カウンセラー的な態度が必要です。

(齋藤 孝著『話し上手 聞き上手』より)

問一 傍線部①「コミュニケーション」における基本的なことは何か。文中から十八字で抜き出しなさい(句読点も含める)。

問二 傍線部②「そこ」とあるが、何を勘違いしてはいけないのか。次の空欄に、合うような文中の言葉を用いて説明文を完成させなさい。

【 】ということ勘違いしてはいけない。

問三 空欄ア～ウに適当な語句を後の選択肢から選び、答えなさい。

「選択肢 なぜなら ・ そして ・ ところが ・ つまり ・ たとえば」

問四 傍線部③「聞いてくれる人」とはどのような相手か。文中から二か所、九字でそれぞれ抜き出しなさい。

問五 傍線部④「きつかけ」を作ってくれる人とはどのような人か、適当なものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 途中で話をさえぎったり、否定したりせず、安心して話せる母親のような人
- イ 時間も自由にしゃべらせてくれて、子供の話し方を注意する母親のような人
- ウ 途中で話をさえぎり、言ったことを否定して、相手に不安を感じるような人
- エ 時間も自由にしゃべらせてくれず、子供のやる気をそぐような行動をとる人

問六 傍線部⑤「子供の話し方」について、なぜ子供は長々と話してしまうのか。筆者の考えを、話すという動作がどういふものかについても触れて、文中の言葉を用いてわかりやすく説明しなさい。

問七 傍線部⑥「カール・ロジャース」が生み出した手法はどのようなものか。詳しく説明している二文を、傍線部より前の段落から抜き出し、最初の五字と最後の五字を答えなさい。(句読点を含む)。

四 次の古文を読み、後の問いに答えなさい。

九月ばかり①夜一夜降り明かしたる雨の、今朝はやみて、朝日いとけざやかにさし出でたるに、前栽の露はこぼるばかり濡れかかりたるも、②いとをかし。透垣の羅文、軒の上などはかいたる蜘蛛の巣のこぼれ残りたるに、雨のかかりたるが、白き玉を貫きたるやうなるこそ、③いみじうあはれにをかしけれ。

すこし日たけぬれば、萩などの、いと重げなるに、露の落つるに、枝うち動きて、人も手触れぬに、ふと上さまへあがりたるも、いみじうをかし。と言ひたる事どもの、④人の心には、つゆをかしからじと思ふこそ、またをかしけれ。

(「枕草子」より)

「語注」

透垣の羅文：垣根の上に付けた、竹や木を組んだ飾り

前栽：庭先の草木

問一 傍線部①「夜一夜」について、適当な現代語訳を次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア 昨日の夜
- イ ある夜の一日
- ウ 一晩中
- エ 夜明け

問二 傍線部②「いとをかし」を現代語訳しなさい。

問三 傍線部③「いみじうあがれにをかし」となぜ感じたのか。次の空欄A～Cに当てはまる語句を、文中からそれぞれ抜き出し、説明文を完成させなさい。

垣根や軒の上に張りめぐらしてある【A】が切れ残っているところに、【B】の降りかかったのが、まるで【C】糸で貫いたように見えるから。

問四 傍線部④「人の心」はどのように思うのか。本文から十一字で抜き出しなさい。

五 作文

昨今では、フェイクニュースが世の中にあふれるようになりました。人を混乱させるためにわざと流されたデマ情報もあります。身近な医療・健康情報、うわさ話やゴシップネタなどにも、間違った情報があります。あなたがそのようなものに惑わされないようにするためには、どのような対策が考えられますか。

- 1 原稿用紙の書き方に従うこと。
- 2 題名・氏名は原稿用紙のマスの中には書かないで、始めの行から書きだすこと。
- 3 字数は百五十字以上、二百字以内とする。
- 4 できるだけ漢字を使って書くこと。

